

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		スポーツ振興事業費 [スポーツ振興事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 5	保険体育費	目 1	保険体育総務費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 5				
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進						総合計画書(ページ)	43				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民			スポーツに関心のある人や団体の数							
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
この仕事の目的	①市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践できるようなスポーツ環境の整備 ②市民が主体的にスポーツ活動に取り組めるよう、情報提供や体制の整備			スポーツ・レクリエーションの推進の施策に対する市民の満足度							
	→										
	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	①学校施設(体育館・校庭・教室)の貸し出し事務 ②市町村総合体育大会に関する事務 ③都民体育大会に関する事務			①毎月、学校、代表世話人、指定管理者等と調整を図りながら事務を進めた。 ②・③それぞれの大会期間中に体育協会と調整を図りながら事務を進めた。 →							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	%	18.2	17.5	集計中					
	目 標	②の目標値	%					21.6			
		目標値設定の考え方									
市民意識調査において、平成33年(令和3年)の「スポーツ・レクリエーション活動の推進に対する市民の満足度」の目標値を21.6%としている。(第四次基本計画)											
3 経費	活動指標	③の数値	①回 ②~④人	①6,482 ②156、③249	①6391 ②317、③225	①6576 ②158、③201					
	事業費(実績)		円	1,542,409	1,654,223	1,755,612	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,542,409	1,654,223	660,384					
		特定財源	円			1,095,228					
		(うち受益者負担)	円			7,228					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	616,963	661,689	702,244					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	2,159,372	2,315,912	2,457,856						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和45 年度頃 (学校施設開放)										
	(2) 環境の変化 特になし										

事業名称	スポーツ振興事業費 [スポーツ振興事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ①学校施設の開放事務は、学校、使用団体、市民体育館等との調整事項が多く、特に使用団体の施設使用について、学校または他の利用者からのクレーム（例：タバコを吸った跡があった、施錠が不十分、時間外使用等）が多く、その対応に苦慮した。 ②・③の大会等の事務では、体育協会及びその加盟団体との調整等が主であるが、特に意見はなかった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：①、④、⑤、⑥、⑦（市民体育大会、都民体育大会、市町村総合体育大会） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ①学校施設開放事務は、各小中学校や各利用団体、市民体育館とのやりとりにより多くの労力と手間がかかっているため、何らかの合理化策が必要である。 ②・③各種体育大会の運営支援に係る事務は、主に東大和市体育協会とのやりとりになるが、派遣委託費が年度毎の増減が大きく、予算確保等に苦慮している。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ①各関係者との連絡調整や情報共有を図ったほか、事務スケジュール（カレンダー）を作成して、事務処理の流れを分かりやすく工夫するとともに、可能な限り簡略化する等の合理化を図った。 ②・③東大和市体育協会との連絡調整や情報共有を密にして、事務の円滑化を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ①人手によるミスや事務効率の無駄が生じてしまうことや、月によってはスケジュールが過密であるため、施設予約システム等のITを活用した合理化を検討したい。 ②・③これまでと同様、東大和市体育協会との連絡調整や情報共有を密にするとともに、電子メール等のメディアを有効活用して事務の効率化を図りたい。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ①学校施設開放事務は、各小中学校、各利用団体、指定管理者（市民体育館）とのやりとりを合理化するため、施設予約システム等のIT化を積極的に導入する。 ②・③各種体育大会の運営支援においては、行政、体育協会それぞれの役割分担を明確にしながら、スポーツ振興に取り組む。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	①施設予約システム等のIT化を進めるためには、導入費用等の確保が欠かせない他、各利用団体への周知、運用管理の簡素化等を念頭に、十分な検討を行う必要がある。 ②・③行政、体育協会との信頼関係を高めるとともに、それぞれの役割分担における取り組みが必要である。			